
自治体ホームページ 861 団体全て、障害者配慮の J I S 規格基準に問題

- 総務省による 2017 年度調査と同一システムで調査 -

<http://www.a-brain.com/news/2018/20181204.html>

<https://www.aao.ne.jp/research/aion/2018/index.html>

【プレスリリース】報道関係者各位

2018 年 12 月 4 日

アライド・ブレインズ株式会社

アライド・ブレインズ株式会社（東京都千代田区、以下、アライド・ブレインズ）は、2018 年 7 月から 10 月に、自治体（都道府県、政令市、特別区、その他の市）の公式ホームページの全ページを対象に、高齢者・障害者のホームページ利用への配慮（ウェブアクセシビリティ）に関する JIS 規格（JIS X 8341-3:2016）への対応状況を調査しました。

総務省が 2017 年度に実施した「国及び地方公共団体公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」と同一のシステムを用いて調査した結果、**861 団体全ての公式ホームページに、JIS 規格の適合レベル A 又は AA の問題がある**ことが確認されました。

本調査は、自治体のほか、国（府省庁、国会、裁判所等）のホームページを対象に実施しており、情報提供サイト「A. A. O. (<http://www.aao.ne.jp/>)」に結果を発表しております。

◆ 背景

ウェブアクセシビリティとは「高齢者や障害者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること」を意味します。

障害者差別解消法（2016 年 4 月施行）を踏まえ、公共機関のウェブサイトは JIS 規格の基準を満たすことが求められています。また、東京オリンピック・パラリンピックの開催が間近に控える中、障害者を含めた誰もが利用可能とするための情報環境の整備は喫緊の課題です。

◆ 調査結果

本調査は、自治体の公式ホームページを対象に JIS 規格の適合レベル A 及び AA に問題があるページ数、箇所数を機械的に検証可能な範囲で確認したものです。

自治体の公式ホームページの全ページ（全 HTML ファイル）に対して、問題のあるページの割合を集計すると、44.09%でした。

表：団体種別ごとのレベル A 又は AA に問題のあるページの割合

	団体数	公開されている全ページのうち、レベル A 又は AA に問題のあるページの割合
都道府県	47	28.10%
政令市	20	37.32%
特別区	23	38.41%
その他の市	771	49.65%
合計	861	44.09%

表：都道府県と政令市を除く、その他市のレベル A 又は AA に問題のあるページの割合

	団体数	公開されている全ページのうち、レベル A 又は AA に問題のあるページの割合
北海道・東北地方	110	57.83%
関東地方	198	42.43%
北陸・甲信越地方	81	59.19%
東海地方	93	53.90%
近畿地方	107	40.52%
中国・四国地方	90	56.66%
九州・沖縄地方	115	46.57%

各団体の調査結果は、情報提供サイト A. A. O. 『2018 年 Aion 全ページ JIS 対応調査「自治体編」』にて結果を発表しております。

The screenshot shows the A.A.O. website interface. The main content area displays the title '2018年Aion全ページJIS対応調査「自治体編（4）関東地方」調査結果'. Below the title, there is a brief introduction and a table of results. The table lists 31 municipalities in the Kanto region, ranked by the percentage of pages that are Level A or AA compliant. The table columns are: No., 団体名 (Organization Name), 公開されている全ページのうち、レベルA又はAAに問題のあるページの割合 (Percentage of pages with Level A or AA issues), and レベルA又はAAの問題の箇所数 (Number of Level A or AA issues).

No.	団体名	公開されている全ページのうち、レベルA又はAAに問題のあるページの割合	レベルA又はAAの問題の箇所数
1	東京都杉並区	0.08%	52
2	群馬県高崎市	0.12%	55
3	千葉県鎌ケ谷市	0.35%	26
4	茨城県つくば市	0.54%	27
5	東京都千代田区	1.05%	179
6	神奈川県平塚市	1.66%	481
7	東京都日野市	1.94%	262
8	神奈川県横浜質市	1.94%	1,048
9	茨城県神栖市	2.18%	523
10	埼玉県戸田市	2.28%	534
11	千葉県成田市	2.37%	393
12	東京都東久留米市	2.45%	211
13	東京都小金井市	2.79%	410
14	東京都武蔵野市	2.81%	816
15	千葉県富里市	2.83%	774
16	神奈川県海老名市	3.03%	398
17	東京都あきる野市	3.11%	985
18	栃木県宇都宮市	3.14%	1,269
19	群馬県桐生市	3.37%	963
20	千葉県白井市	3.50%	2,235
21	茨城県龍ケ崎市	3.66%	466
22	千葉県南房総市	4.00%	425
23	神奈川県茅ヶ崎市	4.03%	1,370
24	千葉県我孫子市	4.09%	907
25	神奈川県大和市	4.58%	3,223
26	東京都播磨市	4.69%	551
27	埼玉県八潮市	4.75%	639
28	茨城県常総市	4.94%	752
29	千葉県八千代市	5.41%	2,979
30	埼玉県本庄市	5.57%	884
31	埼玉県日高市	5.77%	1,839

<https://www.aao.ne.jp/research/aion/2018/index.html>

◆ まとめ

総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016年版）」では、各公共機関が自団体ホームページの現状や運用の事情を踏まえ改善計画を立案し実行することを求めています。

アライド・ブレインズでは、本調査により各公共機関公式ホームページで公開されている全ページのJIS対応状況を明らかにし、結果の公表、解説セミナーの実施等を通じて、公共機関ホームページのウェブアクセシビリティ向上の支援を継続しております。

◆ 調査概要

1. 調査対象

都道府県 47

政令市 20

特別区 23

その他の市 771

全国地方公共団体コード「都道府県コード及び市区町村コード」（平成 28 年 10 月 10 日現在 総務省）より選定。

2. 調査期間

2018 年 7 月～10 月

3. 調査方法

アライド・ブレインズが開発した「全ページ JIS 検証プログラム Aion（アイオン）」を用い、調査対象ホームページの公開されている全ページを対象に、JIS 規格対応を調査した。

Aion は、総務省が開発し広く一般に無償提供している JIS 規格対応検証ツール miChecker（エムアイチェッカー）2.0 のチェック項目と基準に準じて、公開されている全ページを一括で検証するもの。総務省が 2017 年度に実施した「国及び地方公共団体公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」に用いられたシステムである。

本調査は miChecker2.0 の基準により機械的な検証を実施し「問題あり」と判定された箇所について集計を行った。JIS 規格に基づき人の判断を含めた確認を行った場合、本調査の結果以上に問題が確認される可能性が高い。また、問題と判定された箇所には、ページの内容等を含めて人による確認を行った場合、問題がないとの判断に至るものが含まれている可能性がある。

【ウェブアクセシビリティとは】

高齢者や障害者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること。ウェブアクセシビリティ配慮の基準である JIS X 8341-3:2016 が 2016 年 3 月に改正公示された。特に、官公庁や自治体をはじめとする公的機関のホームページは、総務省が 2016 年 4 月に発表した「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016 年版）」に基づき、JIS X 8341-3:2016 に対応することが求められている。

みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016 年版）

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html

【JISの適合レベル・達成基準について】

- 適合レベル：JIS X 8341-3:2016 に設けられた、ウェブアクセシビリティ対応の程度を示したものの。最低限の要求事項であるレベル A、その上位のレベル AA、レベル AAA の三段階が用意されている。
- 達成基準：ページの作成において対応すべき個別的な要件を規定したもの。61 項目あり、各項目はレベル A、レベル AA、レベル AAA のいずれかに対応している。

【総務省「国及び地方公共団体公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」について】

総務省が国及び地方公共団体公式ホームページを対象に、2017 年度に実施した JIS X 8341-3:2016 対応状況調査。本調査は、この総務省による調査と同一のシステムを用いて実施した。

総務省による調査結果の概要は総務省ホームページで公表されている。また、2018 年 12 月から 2019 年 1 月に調査結果を踏まえた公的機関向けの講習会の開催が予定されている。

調査結果

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html#anchor02

公的機関向け講習会

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html#anchor01

【総務省「miChecker」について】

総務省が開発し広く一般に無償提供しているアクセシビリティチェックツール。1 ページずつ検証を行う。

総務省「miChecker」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html

【Aionについて】

公共機関のウェブアクセシビリティ検証のために総務省が開発し提供しているアクセシビリティチェックツール「miChecker(エムアイチェッカー)」のチェック項目と基準に準じて、ホームページの全ページを一括して検証するプログラム。総務省の公開する miChecker のソースコードを活用しアライド・ブレインズが開発。



全ページ JIS 検証プログラム Aion

<https://www.aao.ne.jp/aion/index.html>

【アライド・ブレインズ株式会社について】

調査・コンサルティングファーム。ウェブサイトの品質確保・向上に関し、総務省推進プロジェクト支援、官公庁・自治体・企業のコンサルティングなど多数の実績がある。ウェブアクセシビリティの JIS 規格（JIS X 8341-3:2016）改正原案検討委員。「みんなの公共サイト運用ガイドライン」は、総務省からの請負により作成を担当。

アライド・ブレインズ株式会社

<http://www.a-brain.com/>

【A.A.O.について】

自社運営のウェブサイトを核にした、提供者と利用者のための公共機関ウェブサイト品質向上支援プロジェクト。サイト及びメールマガジン、セミナーを通じ、関連情報や支援ツール、改善支援サービスなどを提供している。

公共機関サイト支援プロジェクト

A.A.O.

A.A.O.

<https://www.aao.ne.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ

アライド・ブレインズ株式会社 担当：米田、杉木

Tel : 03-3261-7431 Fax : 03-3261-7432 e-mail : office@aao.ne.jp

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-8 トミービル 3 2 階